

★**医院ニュース①** 12月29日(金)～1月3日(水)

は**年末年始休暇**です。1月22日(月)は**振替休日**となり、**終日休診**です。

★**医院ニュース②** 1月12日(金)は**1月26日(金)**

は**伊那中央病院地域救急医療センター**で夜間診療に従事します(午後7時～10時過ぎ)よって**夕方**の診療は**18時15分くらいで終了**となります。

★**医院ニュース③** 1月20日(土)は所用により、

**12時30分**きっかりで診療を終了致します。

★**医院ニュース④** 1月22日(月)、2月5日(月)は**国保委員会**があり、夕方は18:30で診療を終了します。延長は出来ません。

1月		★1/22(月)は休診です。				
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
12/29～1/3は正月休みです						

## -30℃超の極寒の地でオーロラを見る①

一念発起して正月休み6日間のすべてを使い、オーロラを見にカナダ・イエローナイフ(北緯62度)へ行きました。12月29日に出発しましたが、この晩イエローナイフの気温は-38℃まで低下し、ダイヤモンドダストが発生して視界不良にて飛行機は欠航。-31℃のエドモントンで30時間近い足止めを喰らいました。ようやくオーロラを見られたのは12月31日の深夜2時、この日の最低気温-33℃。この気温は私も冬富士の山頂と、厳冬期の鹿島槍稜線でしか経験したことはありません(鹿島槍では顔に凍傷を負いました)。ホッカイロを忘れ、顔も手も冷たいし、カメラも雲台も作動困難。しかもこの日はうっすら白緑っぽいオーロラが見えただけでした。午前5時就寝。午前8時起床。スノーモービルに引っ張られたガタ揺れの檻に乗り、



、広大な凍結湖へ。そこで美しい朝日に照らされながらイヌイットの伝統漁法による魚捕りを見学しました。氷を割って前日仕掛けた網を引き、それにからんだ大きな魚を次々に引っ張り出しました。最初跳ねていた魚も地上に上がるとあっという間に凍りつきます。20尾ほどが取れました。お昼はこれらをソテーにして食べ、午後は犬ぞりを操縦(本当は犬が勝手に走ってくれる)を経験しました。大晦日の晩はカウントダウンをはさんで21時から2時までの5



時間でしたが、-29℃の中、オーロラハンティングといって何か所かのポイントを回って素晴らしいオーロラと風景を堪能しました。満月はオーロラ観賞には不利ですが、この日はオーロラレベルがとても高く、むしろ満月との組合せも綺麗でした。ニューイヤータ火もオーロラときれいにからんでくれました。オーロラが踊るように動くオーロラダンシングや一部がオレンジに変化するオーロラも見られ興奮は最高潮。至福の一夜でした。



## 前頭側頭型認知症 (FTD) とは(その1)

**脳の前頭葉・側頭葉が萎縮**し、血流が低下することによって、様々な症状が引き起こされる病気です。前頭葉と側頭葉は脳の4割を占める重要な器官。前頭葉は思考や感情の表現、判断をコントロールするため、人格や理性的な行動、社会性に大きく関与します。一方側頭葉は、言葉の理解、聴覚、味覚のほか、記憶や感情をつかさどります。どちらも大変重要な働きを担っているので、機能低下による影響は甚大です。前頭側頭型認知症の初期には物忘れや失語はあまりみられず、**人格の変化や非常識な行動**などが目立ちます。そのため、精神疾患と診断されてしまう場合があるので、鑑別診断が重要となってきます。10年前後で寝たきり状態になると言われており、筋萎縮や筋力低下がある場合は、その進行がさらに早いとされています。**40～60代**に発症することが多く、男女差はありません。



**初期** ①**自発性の低下**: 自分から何かに取り組む姿勢がみられなくなります。家事をしなくなる、質問しても真剣に答えない(考え不精)、適当に答える、ぼんやりとして何もしない、引きこもるといった様子がみられます。②**言語障害**: 知っているはずの言葉も意味が分からなくなり、物の名前が出にくくなります。また、文字を読み間違う場合もあります。③**感情の麻痺**: 感情が鈍くなり、他人への興味がなくなります。また、病気で寝ている家族に普段と同じように食事を要求するなど、共感・感情移入ができないなどが起こります。④**食事や嗜好の変化**: 食習慣に変化が見られます。食事のメニューにこだわり、同じものをいくつも食べたり、盗み食いをしたりします。甘いものを過剰に摂るようになることも多くなります。⑤**抑制が効かない**: 刺激に対する反応や欲求が抑えられず、本能のまま行動するようになります。相手に対して遠慮がなくなり、礼儀に欠ける行動をとったり、暴力をふるう、社会性がなくなる、悪ふざけなどがみられます。万引きをしたり、痴漢行為など反社会的な行動も出てきますが、道徳観が低下するため、本人には罪悪感がありません。(2月号に続く)

